

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 5. 8

下水道機構の『新技術情報』 第282号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

楽しいGWをお過ごしになりましたか？連休は急に暑くなりましたね。下水道機構でも今月からクールビズが始まりました。ノーネクタイの涼やかなメンズが初々しいです(^\_^)-☆連休明けでお疲れの方もいらっしゃるかと思いますが、今週も頑張っていきましょう♪

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第282号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・4/28(金)に管きょ更生工法ガイドラインの改定に対応した審査証明の運用に関する説明会を開催しました
- ・4/26(水)に Web 版機関誌「下水道機構情報 plus+」第 12 号を配信しました！

■機構の動き

- ・今週は、5/11(木)に技術サロンを開催します  
※定員に達しましたので募集を締め切りました

■Tea Break

- ・我が家のGW (研究第一部 ペンネーム：ぽっちゃりさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回のゆいまーるはお休みします

■国からの情報

- ・4/21 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。

●4/28(金)に管きょ更生工法ガイドラインの改定に対応した審査証明の運用に関する説明会を開始しました

「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン（案）」（以下、ガイドラインという）に関し、平成29年4月5日に日本下水道協会から「管路更生工法検討調査専門委員会 第5回中間とりまとめ」が公表されました。また、同日付で国土交通省から「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン（案）の取扱いについて」の事務連絡が都道府県等事業実施機関に発出されました。これらを受けて、下水道機構が行う更生工法における審査証明事業の運用に関する説明会ならびに意見交換会を開催しました。説明会では改定ガイドライン中間とりまとめの概要と中間とりまとめを受けての審査証明の運用について説明を行った後、質疑応答、意見交換を行いました。

●4/26(水)に Web 版機関誌「下水道機構情報 plus+」第 12 号を配信しました！

パソコンの設定等によっては、ご覧いただけない場合があります。この場合は、お手数をおかけしますが、次のアドレスにアクセスをしてご覧ください。

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>

---

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●行 事：第 359 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 5 月 11 日(木) 16:00~17:00

ゲスト：横浜市環境創造局 下水道計画調整部

下水道事業マネジメント課長 遠藤賢也 氏

テーマ：『横浜下水道の今後の取組について』

※定員に達しましたので募集を締め切りました

---

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●我が家のGW（研究第一部 ペンネーム：ぼっちゃりさんからの投稿です）

GWが明けました。今年の中2日を休暇にすることで最大9連休でしたので、遠出された方も多かったのではないのでしょうか。我が家は、と言うと、1歳ちょいの娘とほとんど都内で過ごしていました。

そんな中、唯一遠出したのが“子どもの日”に行った横浜市の緑化フェアの一環である「里山ガーデン」。この「里山ガーデン」、3月～6月までの期間限定の開催のようですが、キレイな花々や空を泳ぐたくさんの鯉のぼり、ハンモックにアスレチック…と、楽しい企画が盛りだくさん！普段花々をゆっくり見ることなどあまりない私ですが、娘と一緒にゆっくりと花々を楽しむことができました。

「里山ガーデン」、残り1カ月程度の開催ですが、お隣にはズーラシアもあり、動物とも触れ合うことができます。皆さんも家族とのお出掛けやデートなどで行かれては

いかがでしょうか。

---

。○○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

---

。○○。

●今回のゆいまーるはお休みします

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^\_^)

提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、  
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.4.28 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

明日からGW。皆さんはどのように過ごされますか（過ごされましたか）。私はGWの後半、妻の実家の熊本で過ごす予定にしています。実家の近くでは、JR九州が誇る観光列車、「SL人吉」号、「いさぶろう・しんぺい」号が走るほか、今年の3月から青と緑の車体が美しい「かわせみ やませみ」号が加わり、沿線を賑やかにしています。列車が遠くから近づいてくる時のワクワク感、運転手が汽笛・警笛を鳴らしてくれるかどうかのドキドキ感、そして、手を振ると乗客が手を振り返してくれる一体感・親近感がなんとも言えない幸せな気分になさしてくれます。

今回も息子と一緒に、列車に手を振りに足を運んでみようと思います。

今週の水曜日、新下水道ビジョン加速戦略検討会がスタートしました。詳細は以下のとおりですが、活発で熱心な議論がなされました。今年の夏を目途にとりまとめを行うです。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 「新下水道ビジョン加速戦略（仮称）」の検討を開始しました（下水道企画課）
- 平成 29 年度（第 10 回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」の募集を開始しました！！（下水道企画課）
- 第 1 回「インフラメンテナンス大賞」の受賞者を決定しました（下水道事業課）
- 下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」を更新しました（流域管理官）
- 「新興国の持続可能な成長と環境インフラ整備

―求められるわが国の経験、技術、人材―の開催について（京都大学）  
○第13回公開講座のご案内です（(一社)日本下水道施設業協会）

○「新下水道ビジョン加速戦略（仮称）」の検討を開始しました（下水道企画課）

国土交通省は、人口減少等に伴う厳しい経営環境、執行体制の脆弱化、施設の老朽化等、社会情勢の変化の中、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する「新下水道ビジョン」の実現加速のため、コンセッションをはじめとする官民連携、下水汚泥のエネルギー利用、本格的な海外輸出の実施など、選択と集中により5年程度で実施すべき施策を実現し、国民の生活の安定、向上につなげる「新下水道ビジョン加速戦略（仮称）」の策定に向けた検討を開始しました。

戦略の検討にあたっては、若手・中堅研究者で構成された「新下水道ビジョン加速戦略検討会」を設置し、本検討会での議論を踏まえ、平成29年夏を目処に戦略をとりまとめる予定です。今般、下記の通り第1回新下水道ビジョン加速戦略検討会を開催しましたのでお知らせします。

<委員（敬称略）>

座長 佐藤 弘泰（東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授）  
浦上 拓也（近畿大学経営学部教授）  
藤原 拓（高知大学教育研究部自然科学系農学部門教授）  
山村 寛（中央大学理工学部人間総合理工学科准教授）  
横田 明美（千葉大学大学院社会科学研究院准教授）

日時 平成29年4月26日（水）15時00分～18時00分  
場所 T K P 東京駅日本橋カンファレンスセンター1階  
主な議題 ・新下水道ビジョン加速戦略（仮称）の検討の進め方  
・具体的施策の議論（官民連携の推進）

第1回検討会資料等は以下のURLに掲載しています。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000510.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000510.html)

※次回検討会は、5月26日（金）に開催予定です。

○平成29年度（第10回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」の募集を開始しました！！（下水道企画課）

国土交通省は、「循環のみち下水道」の実現に寄与する優れた取組みを全国展開するため、平成29年度（第10回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」を6月16日まで募集しています。たくさんのご応募をお待ちしています！！

#### 1. 募集部門

- ・イノベーション部門 【新たな価値の創造に貢献する取組み】
- ・レジリエント部門 【強靱な社会の構築に貢献する取組み】
- ・アセットマネジメント部門 【事業管理・人材育成に貢献する取組み】
- ・広報・教育部門 【効果的な広報活動や環境・防災教育】

## 2. 応募団体(以下の団体や事業者の方が対象)

- ・地方公共団体
- ・民間事業者
- ・学校、教育機関
- ・水環境保全活動等を行っている各種NPO、ボランティア団体、市民団体

## 3. 応募期間

4月24日～6月16日

※4月24日付で募集開始の記者発表を行いました。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13\\_hh\\_000339.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000339.html)

※募集案内、応募要領、応募様式、過去の受賞事例等については以下をご参照ください。[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/crd\\_sewera tk\\_000085.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/crd_sewera tk_000085.html)

### ○第1回「インフラメンテナンス大賞」の受賞者を決定しました(下水道事業課)

国土交通省では、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、防衛省とともに、社会資本のメンテナンスに係る優れた取組を表彰する「インフラメンテナンス大賞」を平成28年度に創設しており、本日(4月18日)、第1回の受賞者(各省大臣賞、特別賞、優秀賞)を決定し、公表されております。

下水道分野からは、国土交通大臣賞の3部門(メンテナンス実施現場における工夫部門、メンテナンスを支える活動部門、技術開発部門)のうち、メンテナンス実施現場における工夫部門で、東京都下水道局の「下水道管のビッグデータ」を活用したメンテナンスが受賞者として決定しておりますので、併せてお知らせします。

その他の受賞者など、詳しい内容はこちらをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03\\_hh\\_000162.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000162.html)

### ○下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」を更新しました(流域管理官)

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」について、随時コンテンツを充実しています。また、アメッジをより利用しやすくなるよう、トップページのリニューアルも図っておりますので、皆様ぜひご覧下さい。なお、ダイレクトメールでの「雨道場」の配信を希望される方は、流域管理官までご連絡ください。

⇒ アメッジトップページ URL : <http://shinsui-portal.jp/>

今回の更新内容は以下の通りです。

- ・「雨水通信教育システム～雨道場～No.16」をアップしました。
- ・「担当者's VOICE」のページに岡崎市の浸水対策事業の事例紹介を掲載しました。
- ・「人材紹介」のページに「雨の鉄人」2名を追加しました。(ユーザ登録が必要)
- ・公開している動画の一覧がわかりやすいように「動画一覧」を作成しました。(ユーザ登録が必要)
- ・「交流の場」に「灯台への定期便」を設けました。

・2017ミス日本「水の天使」宮崎あずささんの写真、プロフィールをアップしました。

#### ※ユーザ登録について

トップページ上部の「会員ログイン」をクリックし、ユーザ登録をお願いします。登録には、任意のユーザ名（英数字のみ）の他、メールアドレス（個人のフリーアドレス以外）、氏名、所属団体名の登録が必要です。

なお、ユーザ登録は地方公共団体職員限定としておりますので、ご了承ください。

#### ○「新興国の持続可能な成長と環境インフラ整備

—求められるわが国の経験、技術、人材—」の開催について（京都大学）

100年先までの日本そして世界を創造していく上で、環境工学は重要な使命を持ち、発展が期待される分野です。人口、経済の発展が目覚ましい新興国、とくに、急速に成長するアジアは、都市問題や環境問題に大きな課題を抱えています。

そこで、「新興国の持続可能な成長と環境インフラ整備—求められるわが国の経験、技術、人材—」と題し、シリーズ「環境共生未来都市実現への環境工学の挑戦」の第2回シンポジウムを開催します。

第1部では、アジア開発銀行（ADB）である中尾武彦総裁をお招きし、アジア経済とインフラ整備の動向とADBによるインフラ支援の展望について基調講演いただきます。

また、これまで経済成長と環境問題の調和を支えてきたわが国の上下水道事業や廃棄物対策などの環境インフラの経験や技術、人材が、新興国の成長を支える上で、必要となっている環境インフラの整備と運営に貢献できると考えられます。

そこで、第2部のパネルディスカッションでは、わが国が、このアジア経済を支える環境インフラをいかに支えていくかの視点から、環境工学が果たすべき役割を、日本経済新聞社編集委員とともに、6名の産官学の論客が議論します。

多くの方々の積極的な参加を期待いたします。

#### 記

1. 開催日時：平成29年5月23日（火）12:50～17:05
2. 場 所：京都大学百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール
3. 対 象：どなたでも参加できますが、事前登録をお願いします
4. 参加費：無料
5. 定 員：500名（先着順）
6. 備 考：申込み方法など

・参加申込方法：5月15日までに、電子メールで（電子メールのタイトルを「国際展開シンポ」として下さい）、所属、役職、氏名、シンポジウムの参加の意向を下記問合せ先までお送り下さい。

・シンポジウムは無料です。

・シンポジウム定員：500名（定員に達し次第締切）

・問合せ先：京都大学工学研究科都市環境工学専攻内シンポジウム事務局（担当：宅間）

## プログラム

(環境共生未来都市実現への環境工学の挑戦第2回シンポジウム)

「新興国の持続可能な成長と環境インフラ整備—求められるわが国の経験、技術、人材—」

※主催：京都大学環境衛生工学研究会

共催：京都大学 後援：日本経済新聞社

### 第1部

12:50～12:55 開会の辞： 京都大学工学研究科都市環境工学専攻長 高野 裕久

12:55～13:00 挨拶 京都大学総長 山極 壽一

13:00～14:20 基調講演：アジア経済の現状とインフラ整備を支えるアジア開発銀行の役割  
アジア開発銀行総裁 中尾 武彦

休憩

### 第2部

14:30～14:35 パネル紹介

司会 日本経済新聞編集委員兼 論説委員 久保田 啓介  
(パネラーからの話題提供)

14:35～14:50 京都大学の環境国際人材の育成

京都大学地球環境学堂・地球工学科長 藤井 滋穂

14:50～15:05 我が国の水循環の取組と国際展開

内閣官房水循環政策本部事務局参事官 岡積 敏雄

15:05～15:20 下水道ビジネスの国際展開

国土交通省下水道部下水道事業課長 加藤 裕之

15:20～15:35 下水汚泥・廃棄物の技術の国際展開

京都大学地球環境学堂・工学研究科教授 高岡 昌輝

15:35～15:50 環境ビジネスの国際展開

日立造船(株) 副社長三野 禎男

15:50～16:05 環境ビジネスの国際展開

メタウォーター(株) 執行役員 CSR 推進室長 初又 繁

休憩

16:15～17:00 パネルディスカッション

17:00～17:05 閉会の辞

京都大学工学研究科副研究科長 人間安全保障工学分野長 米田稔

内容は次の URL でも入手できます。

●環境共生未来都市実現への環境工学の挑戦第2回シンポジウム

<http://www.kyoto->

[u.ac.jp/ja/research/events\\_news/department/kougaku/events/2017/170523\\_1630.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/kougaku/events/2017/170523_1630.html)

日本下水道事業団における入札・契約制度や総合評価等の新たな動きについて、事業団から講師をお招きし、お話を伺います。ふるってご参加下さい。

日時 2017年5月15日(月曜日) 10:00-12:00

場所 日本下水道施設業協会 会議室

東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館2階

講師 日本下水道事業団 事業統括部

〈H29年度入札契約制度の主なポイント〉 事業課長 中筋 康之 氏

〈H29年度総合評価制度の概要〉 事業課長代理 山本 哲雄 氏

参加者 関心のある方はどなたでもご参加頂けます。(CPD対象予定)

費用 無料

締切 5月9日(水)

(会場定員を超えた場合、それ以前に締切ることがあります)

以下 URL よりお申し込みください。

<https://wss3.5star.jp/survey/login/xve4j0xu>

<<https://wss3.5star.jp/survey/login/xve4j0xu>>

=====

【参考情報】

◆下水熱利用を積極展開／車道融雪への活用検討 〈4/25 日刊建設工業新聞〉

<http://www.decn.co.jp/?p=91046>

◆下水道、暮らしを支え、未来を拓く「下水道展'17 東京」

8月1日～4日 東京ビッグサイトで開催 〈4/25 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/economy/news/170425/pr11704250029-n1.html>

◆ N J S など、下水道管などの中を調査する飛行ロボット 〈4/26 日刊工業新聞〉

<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00426085>

---

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)



○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20161031/>

